

NLE Yokohama		ROCSセンターツール 操作説明-Agent選択(検索)機能	Technical Cataloge	
April 30, 2007			T 000 952 J	
R&D GN	Ver. 1.1		Page	1 / 22

- 1. ログイン
- 2. メニュー構成
- 3. 一覧機能
 - 3. 1 機器一覧
 - 3. 2 通報履歴
 - 3. 3 操作履歴
- 4. 情報
 - 4. 1 現場情報
 - 4. 2 通報履歴
 - 4. 3 操作履歴
- 5. 補助
 - 5. 1 新機能の登録
 - 5. 2 新端末の登録
 - 5. 3 端末の有効化
 - 5. 4 オプション

1. ログイン

プログラム(sx1cmain.exe)を実行すると下記に示すログイン画面を表示します。

- ①個人情報で登録した内容を入力します
ログイン名 : 個人情報の個人コード
パスワード : 個人情報のパスワード

ログイン-ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)

ログイン

サーバー名: GNNOTE

ログイン名: YAMADA

パスワード: *****

OK

キャンセル

初回に表示する検索画面

☐ 検索画面を表示しない

☒ 機器検索

☐ 通報履歴検索

☐ 操作履歴検索

- ③「OK」ボタンをクリックします

- ②初回に表示する検索画面を選択します。
ここで選択しなくても、主画面のメニューから選択することもできます

注意) ログインした利用者が持っている権限によっては詳細な機能を利用できない場合があります。
必要に応じて「個人情報」の権限を予め設定しておいて下さい。

2. メニュー構成

【10:ファイル(F)】

- 11:終了(X) プログラムを終了します.

【20:検索(Q)】

- 21:機器検索 検索条件画面を表示し、指定された条件で機器を検索して一覧を表示します.
22:通報履歴検索 検索条件画面を表示し、指定された条件で通報履歴を検索して一覧を表示します.
23:操作履歴検索 検索条件画面を表示し、指定された条件で操作履歴を検索して一覧を表示します.
24:選択リスト csv形式ファイルを参照して一覧を表示します.
(将来用、本バージョンでは未提供)

【30:表示(V)】

- 31:現場情報表示 一覧で選択中の現場情報を表示します.
32:通報履歴表示 一覧で選択中の現場の通報履歴を表示します.
33:操作履歴表示 一覧で選択中の現場の操作履歴を表示します.

【40:標準機能(S)】

- a. 現在登録されている標準保守機能を表示します.
b. 「標準機能1」だけ表示されている場合は、「5. 1 新機能の登録」操作を行う必要があります.
(本来、持っている機能が表示されていない場合も同じ)
c. 一覧で選択中の端末を処理できる場合は、選択可能です.
d. 以下の場合は選択不可能です.
・該当機能を使用するのに必要な権限が使用者に無い.
・端末が未接続の現場.
・該当の機能が選択中の端末を処理できない.
・「5. 2 新端末の登録」処理が完了していない.
・「5. 3 端末の有効化」手続きが完了していない.

【50:専用機能(E)】 (本バージョンでは、未提供 将来の拡張用)

- a. 現在登録されている専用保守機能を表示します.
b. なにも表示されていない場合は、「5. 1 機能の登録」操作を行う必要があります.
c. 一覧で選択中の端末を処理できる場合は、選択可能です.
d. 以下の場合は選択不可能です.
・該当機能を使用するのに必要な権限が使用者に無い.
・端末が未接続の現場.
・該当の機能が選択中の端末を処理できない.

【60:ツール(T)】

- 61:新機能の登録 標準保守/専用保守に機能を登録します.
62:新端末の登録 処理対象の端末情報を登録します.
63:端末の有効化 各機能毎に各端末を有効化します。(有償機能の端末毎の有効化)
無償機能は自動で有効化されます.
64:オプション 通信環境等のプログラム動作環境の設定を行います.

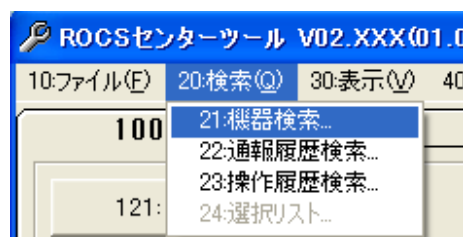
3. 一覧機能

3.1 機器一覧

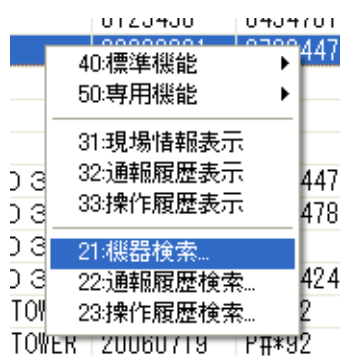
1) 機器一覧画面の表示方法

① 機器検索画面を下記に示すいずれかの方法で表示します。

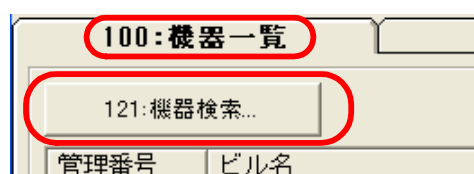
方法A メニュー「20:検索(Q)」→「21:機器検索」を選択する。



方法B 一覧表上でマウスの右ボタンをメニューで「21:機器検索」を選択する。



方法C 「100:機器一覧」タブの「121:機器検索」ボタンを選択する。



② 検索条件を入力します。

チェックBOXが未チェックの場合は無効

③「OK」をクリック

2) 機器一覧画面の内容

ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)

10:ファイル(F) 20:検索(Q) 30:表示(V) 40:標準機能(S) 50:専用機能(E) 60:ツール(T)

100:機器一覧 200:通報履歴 300:操作履歴 400

121:機器検索...

管理番号	ビル名	SAKURA-ID	電話番号	端末種別
<input type="checkbox"/> 0000-0001	第三八木ビル	AAA1	099	スーパー太郎5B
<input type="checkbox"/> 0010-0001	第三八木ビル	00100011	07050910902	eScopeA01 for 8
<input type="checkbox"/> 0020-0001	石川 第一ビル	00200011	07064472599	eScopeA01 for 8
<input type="checkbox"/> 0080-0002	テストビル02	00800002	045	M-OEM2 RI-A/B11
<input type="checkbox"/> 0123-0456	ビル1-2	0123456	0454781790	スーパーサクラ2
<input type="checkbox"/> 0303-0001	Sakura 5+ 計画金	00300001	07064472599	Sakura5+ Main
<input type="checkbox"/> 0303-0002	Sakura			
<input type="checkbox"/> 1002-0001	ビル1			
<input type="checkbox"/> 1002-0002	ビル1-2	30300000	0000	Sakura5 基本部
<input type="checkbox"/> 1111-1111	テストビル1003	1929	07064470274	スーパーサクラ2
<input type="checkbox"/> 1234-5677	テストビル1003	12345677	045-478-1792	スーパーサクラ2

各項目名をクリックすると並べ替えをすることができます。
最初は「管理番号」順に並んでいます。

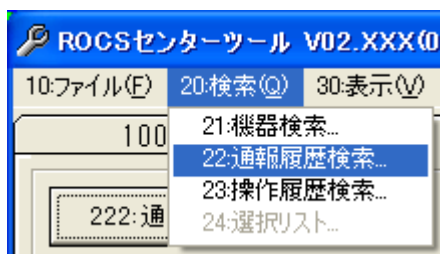
- ・一覧に表示する最大件数は、内部動作環境情報で指定しています。(500件)

3.2 通報履歴

1) 通報履歴画面の表示方法

① 通報履歴検索画面を下記に示すいずれかの方法で表示します。

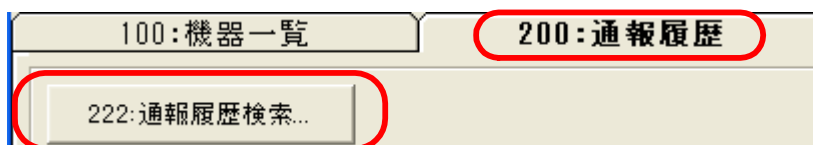
方法A メニュー「20:検索(Q)」→「22:通報履歴検索」を選択する。



方法B 一覧表上でマウスの右ボタンメニューで「22:通報履歴検索」を選択する。

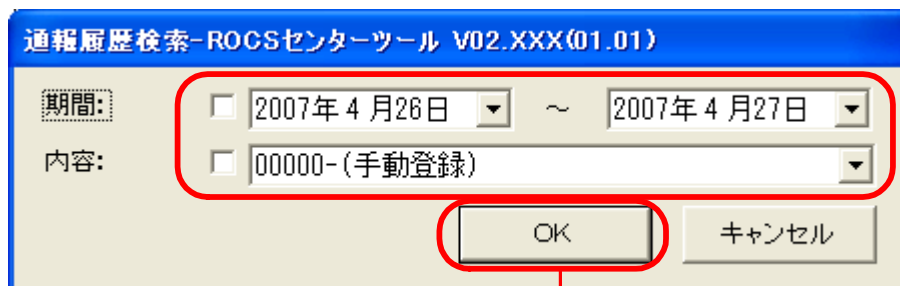


方法C 「200:通報履歴」タブの「222:通報履歴検索」ボタンを選択する。



② 検索条件を入力します。

チェックBOXが未チェックの場合は無効



③「OK」をクリック

2) 通報履歴画面の内容

ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)

10:ファイル(F) 20:検索(Q) 30:表示(V) 40:標準機能(S) 50:専用機能(E) 60:ツール(T)

100:機器一覧 200:通報履歴 300:操作履歴 400:選択リスト

222:通報履歴検索...

通報日時	通報内容	管理番号	ビル名	SAKURA-ID	電話番号	端末種別
<input type="checkbox"/> 2007/04/23 17:38:51	電源200	3030-0123	NICS3000TEST	20041101	92	NICS3000 for 8P
<input type="checkbox"/> 2007/04/23 16:38:03	電源200	3030-0123	NICS3000TEST	20041101	92	NICS3000 for 8P
<input type="checkbox"/> 2007/04/23 15:28:45	電源200	3030-0123	NICS3000TEST	20041101	92	NICS3000 for 8P
<input type="checkbox"/> 2007/04/23 14:46:28	電源200	3030-0123	NICS3000TEST	20041101	92	NICS3000 for 8P
<input type="checkbox"/> 2007/04/23 13:49:02	運1017	3010-0001	eScope A01 Test	20060309	07064240664	eScopeA01 for 8
<input type="checkbox"/> 2007/02/28 10:46:55	運1017	3010-0001	eScope A01 Test	20060309	07064240664	eScopeA01 for 8
<input type="checkbox"/> 2007/02/28 09:46:24	予約06	3000-0001	NICS3000TEST	20050227	07050912074	NICS3000 for 8P
<input type="checkbox"/> 2007/02/28 09:45:44						NICS3000 for 8P
<input type="checkbox"/> 2007/02/28 09:44:29						NICS3000 for 8P
<input type="checkbox"/> 2007/02/26 13:46:05						NICS3000 for 8P
<input type="checkbox"/> 2007/02/26 13:45:22	電源200	3000-0001	NICS3000TEST	20050227	07050912074	NICS3000 for 8P
<input type="checkbox"/> 2007/02/26 12:54:02	E525	3000-0001	NICS3000TEST	20050227	07050912074	NICS3000 for 8P

各項目名をクリックすると並べ替えをすることができます。
最初は「通報日時」順に並んでいます。

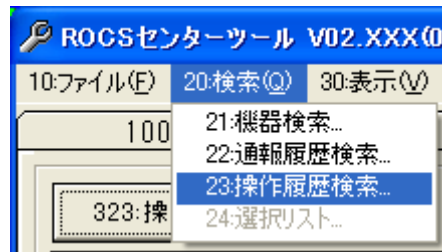
- ・一覧に表示する最大件数は、内部動作環境情報で指定しています。(500件)

3.3 操作履歴

1) 操作履歴画面の表示方法

① 操作履歴検索画面を下記に示すいずれかの方法で表示します。

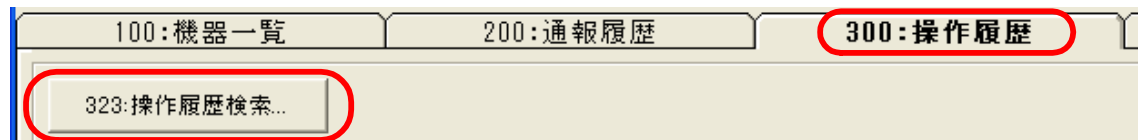
方法A メニュー「20:検索(Q)」→「23:操作履歴検索」を選択する。



方法B 一覧表上でマウスの右ボタンメニューで「23:操作履歴検索」を選択する。



方法C 「300:操作履歴」タブの「323:操作履歴検索」ボタンを選択する。



② 検索条件を入力します。

チェックBOXが未チェックの場合は無効

③「OK」をクリック

2) 操作履歴画面の内容

ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)

10:ファイル(E) 23:検索(Q) 30:表示(O) 40:標準機能(S) 50:専用機能(E) 60:ツール(T)

100:機器一覧200:進報履歴300:操作履歴400:選択リスト500:直接指定

323:操作履歴検索...

件数: 266 件

開始日時	終了日時	操作者	機能名	管理番号	ビル名	SAKURA-ID	電話番号	端末種別
2007/04/26 15:06:00	15:06:00	イスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 15:40:16	15:40:16	マスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 15:22:11	15:22:11	マスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 15:57:59	15:57:59	マスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 16:45:28	16:45:28	マスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 17:44:55	17:44:55	マスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 17:23:16	17:23:16	イスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 17:19:45	17:19:45	イスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 15:44:22	15:44:22	マスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 15:35:02	15:35:02	マスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 15:29:47	15:29:47	マスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P
2007/04/26 15:21:44	15:21:44	マスタ	01:リアルタイムモニタ	3000-0001	NICS3000TEST	200E0227	0705091277	NICS3000 -or 8P

各項目名をクリックすると並べ替えをすることが出来ます。
最初は「開始日時」順に並んでいます。

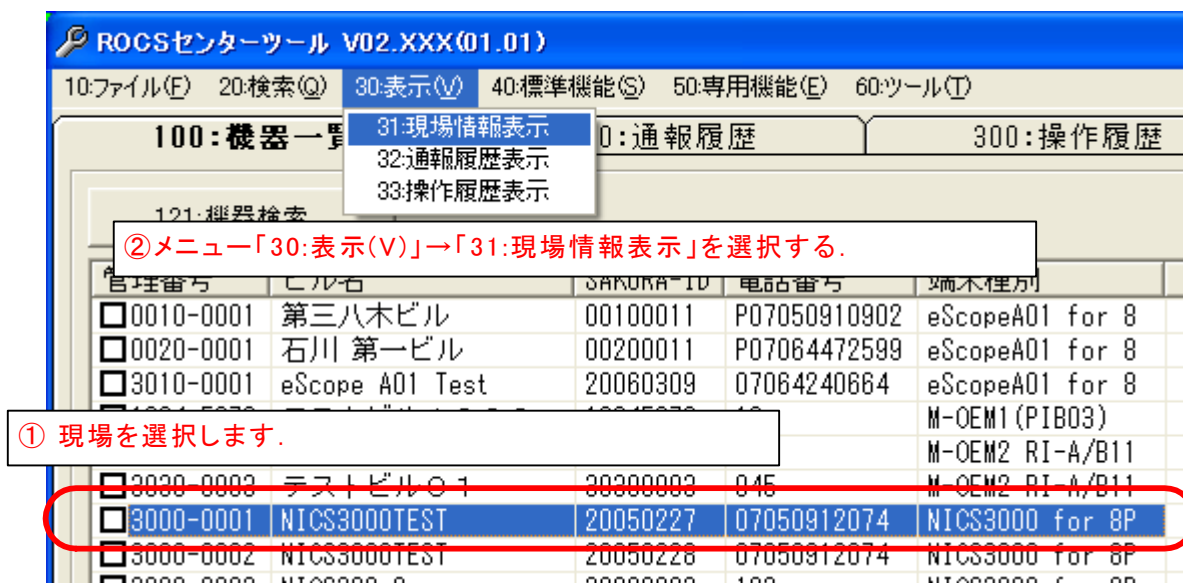
・一覧に表示する最大件数は、内部動作環境情報で指定しています。(500件)

4. 情報

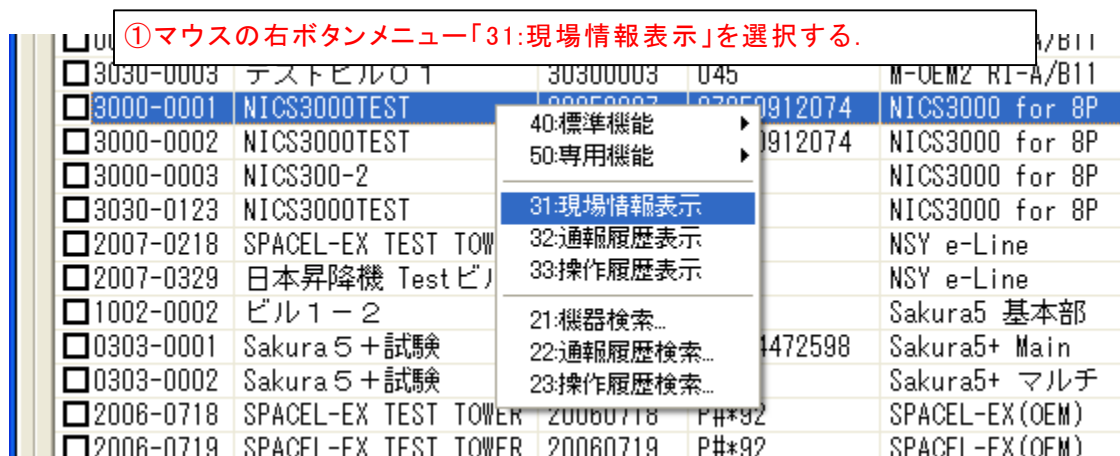
4.1 現場情報

1) 表示方法

方法A メニュー「30:表示(V)」→「31:現場情報表示」を選択する。



方法B マウスの右ボタンメニュー「31:現場情報表示」を選択する。



2) 現場情報画面の内容

①

現場情報-ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)

001:閉じる

項目	内容
現場名	NICS3000TEST
住所	神奈川県 横浜市 港北区 新横浜 1 - 3 - 1
ビル用途	ビル仕様 A
管理番号	3000-0001
SAKURA-ID	20050227
端末種別	NICS3000 for 8P
シリアル形式	RSM NICS3000
メーカー	NLE-ZX
ELV機種	NICS3000-1000/15-?????-90-8(8)
ELV用途	乗用
機械室	上部
単/多	(無効)
駆動方式	その他
ギヤ	(無効)
積載	1000 Kg
定員	15 人
速度	90 m/min
停止階床数	16 階床
昇降行程	64 m
設置日	2005/10/04
保守契約状態	契約中
保守開始日	2007/02/27
保守契約種別	FM
保守担当社	〇〇△□×昇降機
故障担当者(正)	八木裕之
故障担当者(副)	高木誠吾

②

① ウィンドウのサイズ変更が可能です(右下の枠をドラッグ)

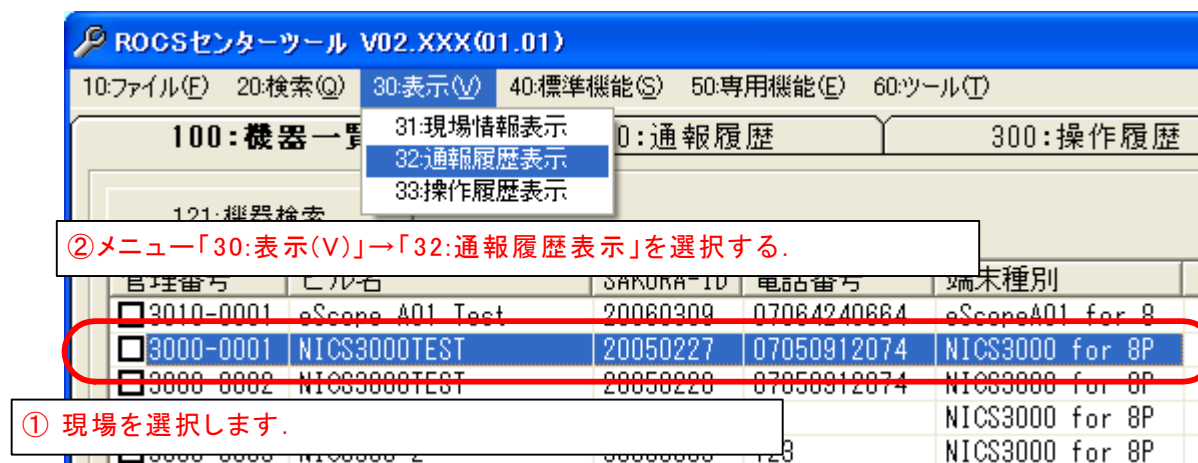
② 「001:閉じる」ボタンでウィンドウを閉じます。

・一覧(機器一覧/通報履歴/操作履歴)で別の項目を選択すると、対応の情報に切り替わります。

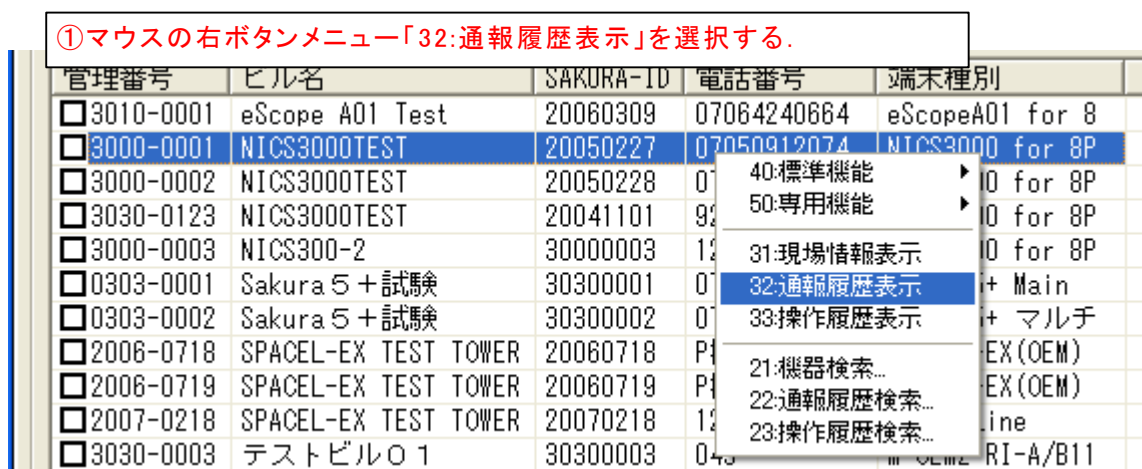
4. 2 通報履歴

1) 通報履歴画面の表示方法

方法A メニュー「30:表示(V)」→「32:通報履歴表示」を選択する。



方法B マウスの右ボタンメニュー「32:通報履歴表示」を選択する。



2) 通報履歴画面の内容

①

通報履歴-ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)

001:閉じる

受信日時	種別	短縮名	正式名
2007/02/28 09:46:24	端末通報	予約06	(N3T ALM予約06)
		+-予約07	+- (N3T ALM予約07)
2007/02/28 09:45:44	端末通報	予約05	(N3T ALM予約05)
2007/02/28 09:44:29	端末通報	ブレーキ開	ブレーキ開放時間超過
		+-ブレーキ締	+-ブレーキ締結時間超過
2007/02/26 13:46:05	端末通報	E525	Reserved 525
2007/02/26 13:45:22	端末通報	電源200	電源異常 200V
		+-電源100	+-電源異常 100V
2007/02/26 12:54:02	端末通報	E525	Reserved 525
2007/02/26 12:53:20	端末通報	電源200	電源異常 200V
		+-電源100	+-電源異常 100V
2007/02/26 12:23:40	端末通報	E525	Reserved 525
2007/02/26 12:23:01	端末通報	電源200	電源異常 200V
		+-電源100	+-電源異常 100V
2007/02/26 12:19:21	端末通報	E525	Reserved 525
2007/02/26 12:18:16	端末通報	電源200	電源異常 200V

②

① ウィンドウのサイズ変更が可能です(右下の枠をドラッグ)

② 「001:閉じる」ボタンでウィンドウを閉じます。

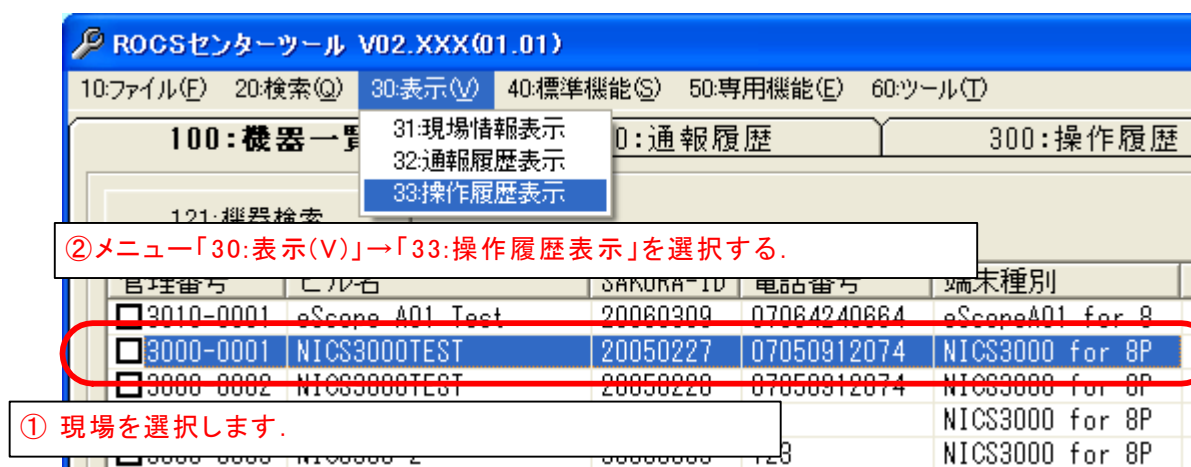
・最新の通報から過去5000件分を表示します。

・一覧(機器一覧/通報履歴/操作履歴)で別の項目を選択すると、対応の情報に切り替わります。

4. 3 操作履歴

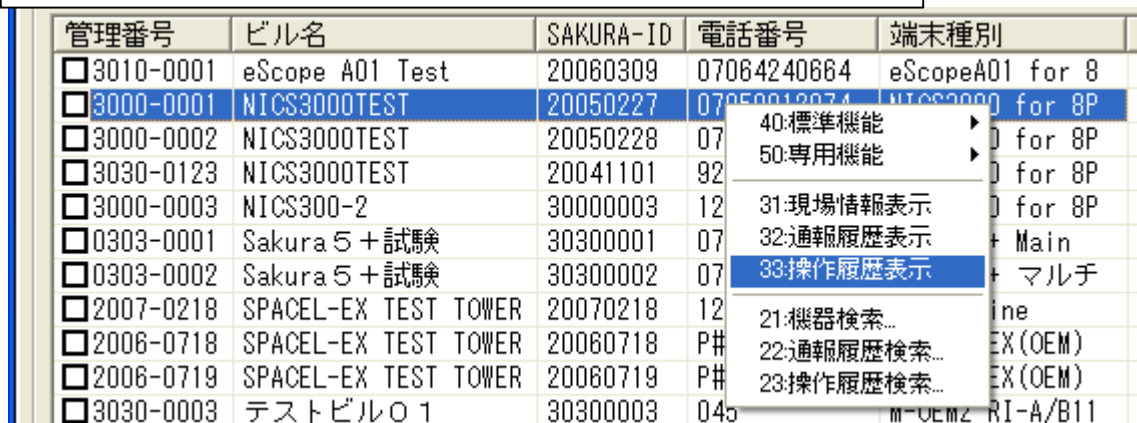
1) 操作履歴画面の表示方法

方法A メニュー「30:表示(V)」→「33:操作履歴表示」を選択する。



方法B マウスの右ボタンメニュー「33:操作履歴表示」を選択する。

①マウスの右ボタンメニュー「33:操作履歴表示」を選択する。



2) 操作履歴画面の内容

①

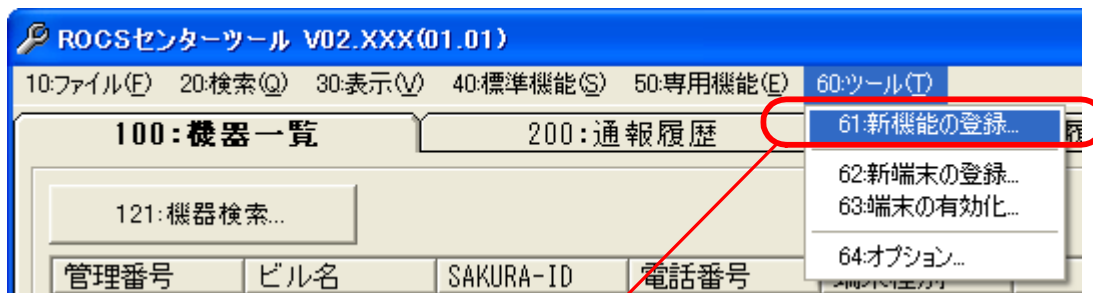
操作履歴-ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)				
001:開じる				
機能	操作日時	操作内容	操作者	使用PC
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 17:55:00	接続	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 17:38:36	手動切断	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 17:38:02	接続	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 17:22:32	手動切断	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 17:21:58	接続	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 16:05:39	手動切断	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 16:05:02	戸閉指示を行いました...	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 16:04:53	戸閉指示を行いました...	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 16:04:42	かご呼び登録指示を行いました...(階ビット:0x00000015)	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 16:04:33	接点出力指示を行いました...(リレー番号:1)	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 16:04:28	接点出力指示を行いました...(リレー番号:2)	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 15:58:23	接続	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 15:24:26	端末切断	マスタ	GNNOTE
01:リアルタイムモニタ	2007/04/23 15:19:48	接続	マスタ	GNNOTE

②

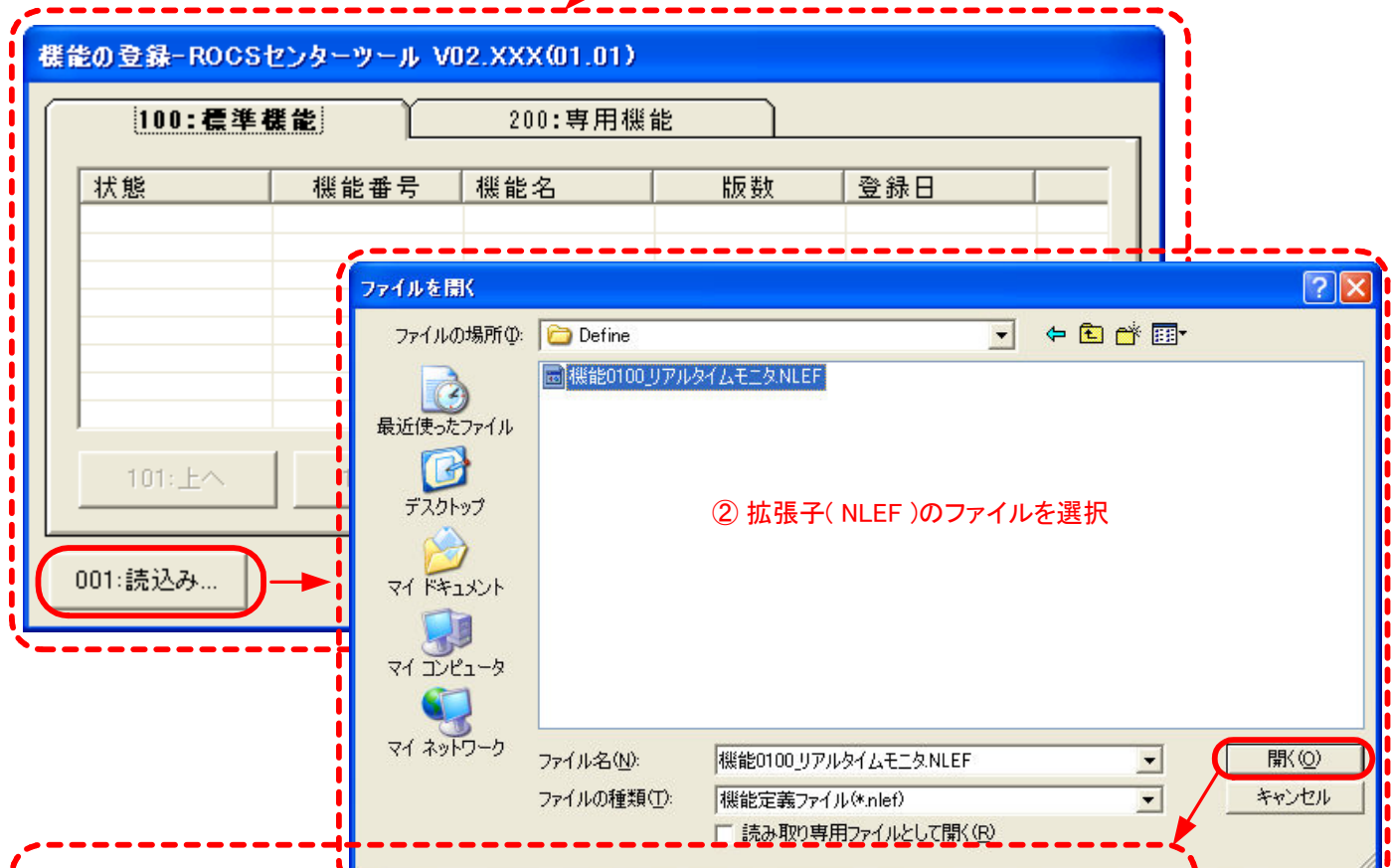
- ① 「001:開じる」ボタンでウィンドウを閉じます。
- ② ウィンドウのサイズ変更が可能です(右下の枠をドラッグ)
- ③ 各項目名をクリックすると並び替えができます。
初回は「操作日時」順に並んでいます。
- ・最新の操作から過去5000件分を表示します。
- ・一覧(機器一覧/通報履歴/操作履歴)で別の項目を選択すると、対応の情報に切り替わります。

5. 補助

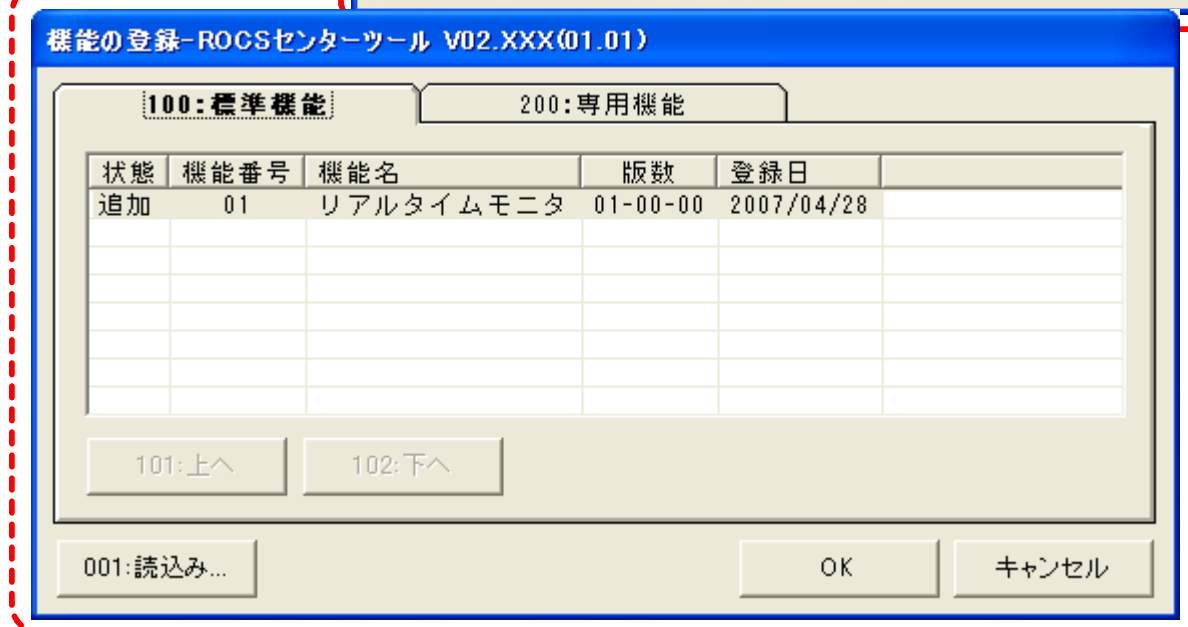
5. 1 新機能の登録



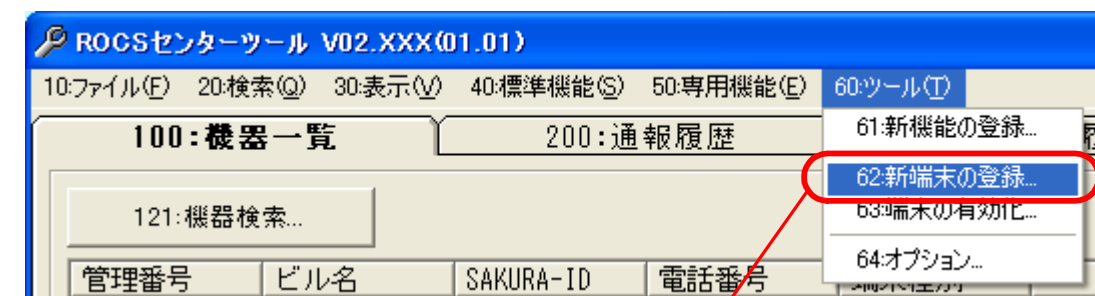
①「60:ツール」→「61:新機能の登録...」を選択



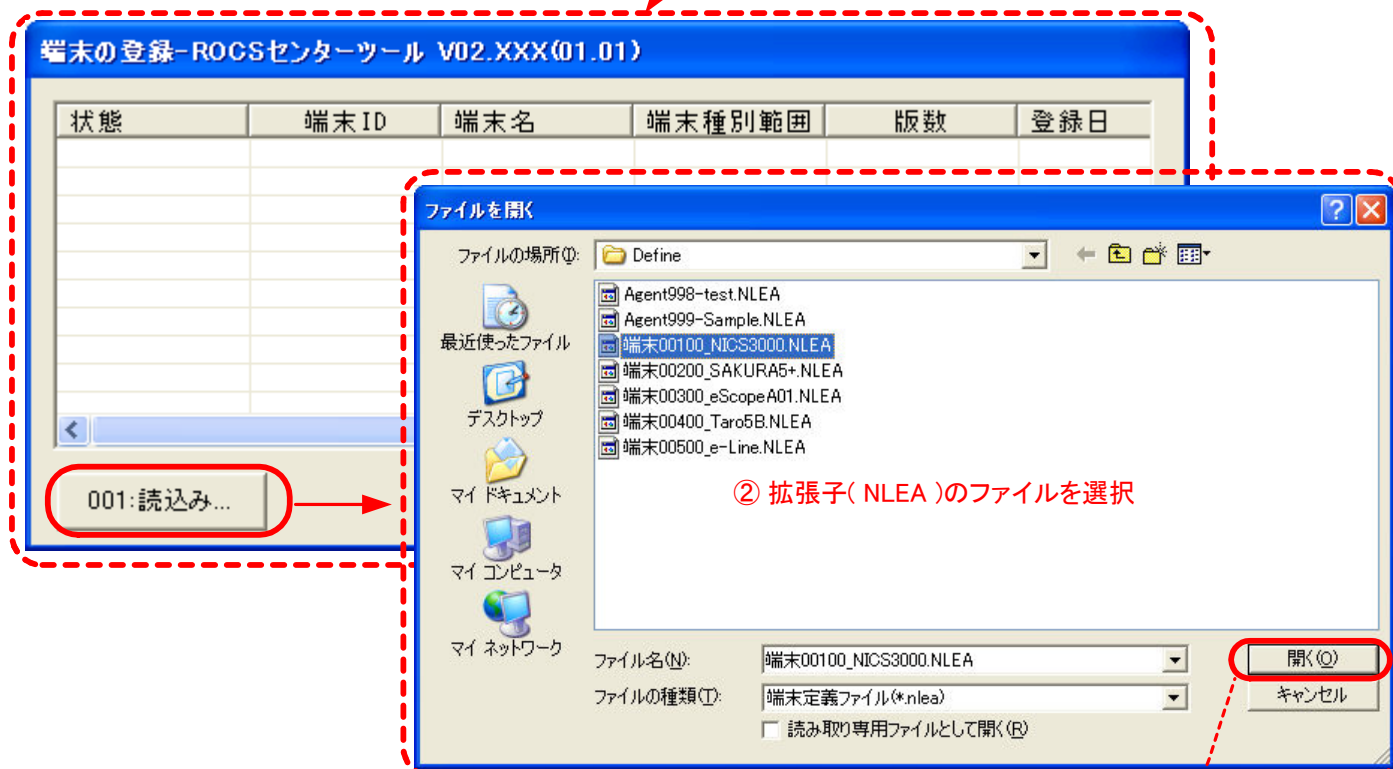
② 拡張子(NLEF)のファイルを選択



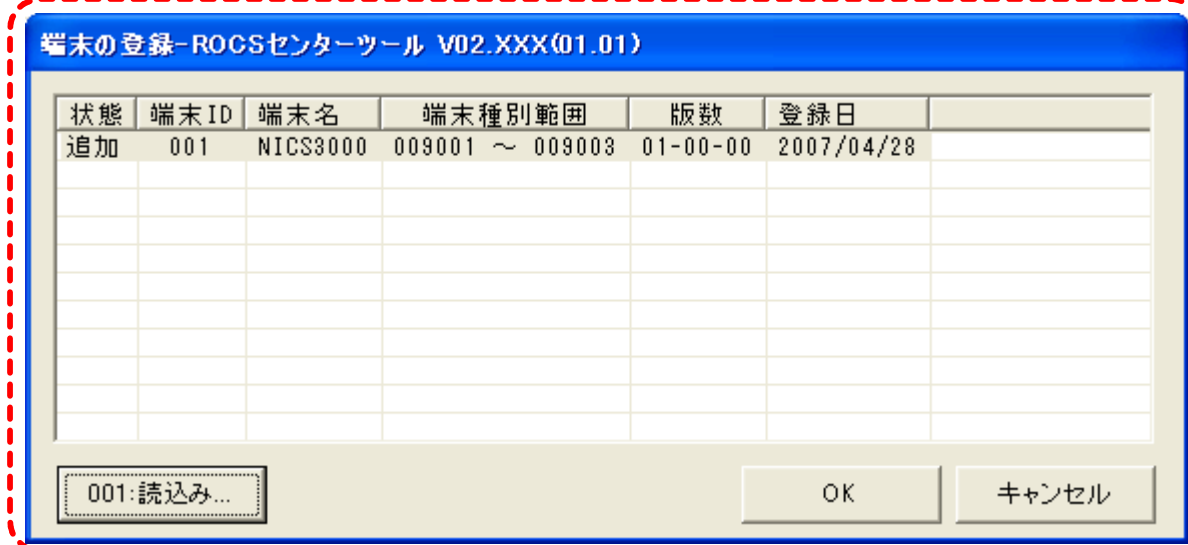
5. 2 新端末の登録



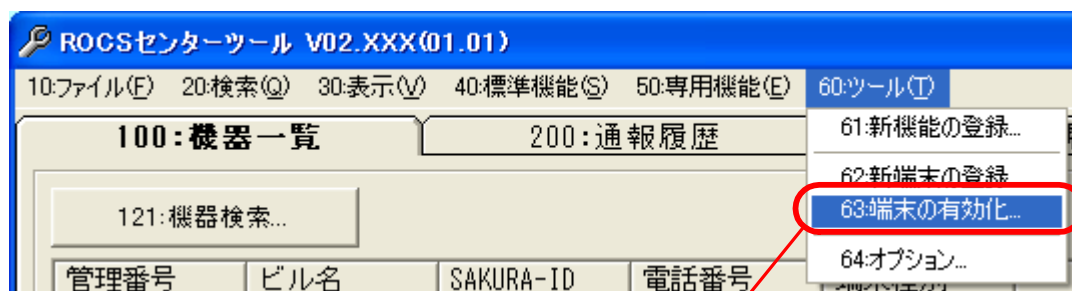
① 「60:ツール」→「61:新機能の登録...」を選択



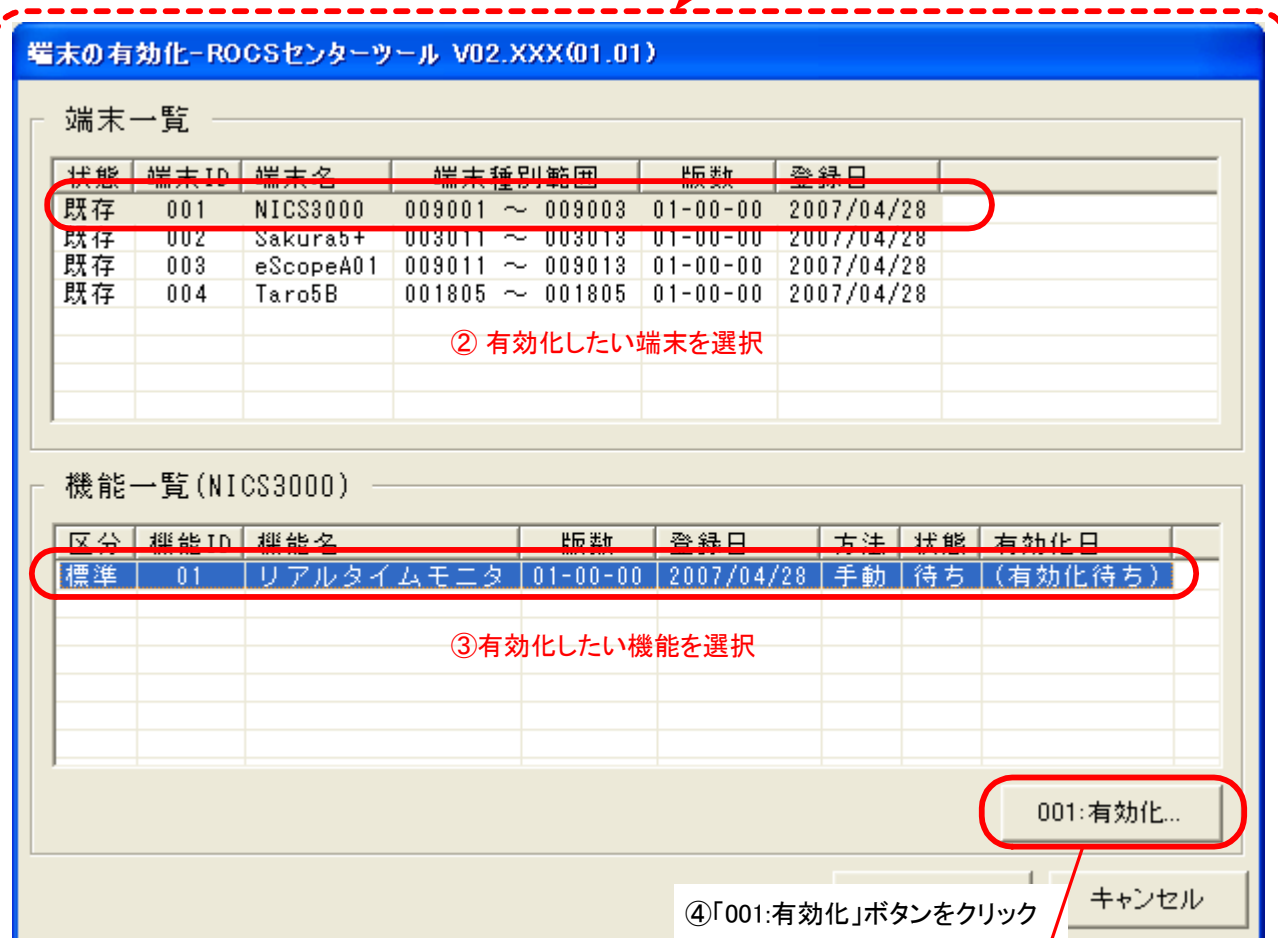
② 拡張子(NLEA)のファイルを選択



5.3 端末の有効化



① 「60:ツール」→「63:端末の有効化...」を選択



有効化コードの入力-ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)

機能(リアルタイムモニタ)で端末(NICS3000)を有効にするため、下記の購入コードを弊社の担当者に伝えて、受け取った有効化コードを入力して下さい。

購入コード

B284 1702 R110 8004

有効化コード

OK

キャンセル

⑤ 表示されている16文字の「購入コード」NLEに通知して16文字の有効化コードを受け取る。

⑥受け取った16文字の有効化コードを入力する。

有効化コードの入力-ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)

機能(リアルタイムモニタ)で端末(NICS3000)を有効にするため、下記の購入コードを弊社の担当者に伝えて、受け取った有効化コードを入力して下さい。

購入コード

B284 1702 R110 8004

有効化コード

G114 7137 W614 0922

OK キャンセル

端末の有効化-ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)

端末一覧

状態	端末ID	端末名	端末種別範囲	版数	登録日
既存	001	NICS3000	009001 ~ 009003	01-00-00	2007/04/28
既存	002	Sakura5+	003011 ~ 003013	01-00-00	2007/04/28
既存	003	eScopeA01	009011 ~ 009013	01-00-00	2007/04/28
既存	004	Taro5B	001805 ~ 001805	01-00-00	2007/04/28

機能一覧(NICS3000)

区分	機能ID	機能名	版数	登録日	方法	状態	有効化日
標準	01	リアルタイムモニタ	01-00-00	2007/04/28	手動	有効	2007/04/28

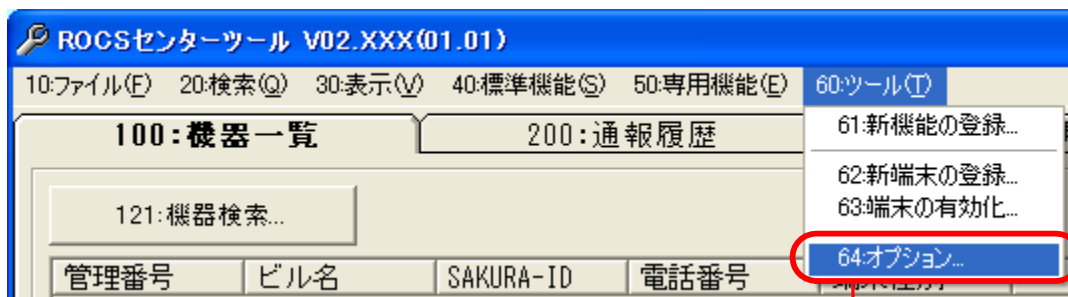
"待ち"から"有効"に変化

001:有効化...

OK キャンセル

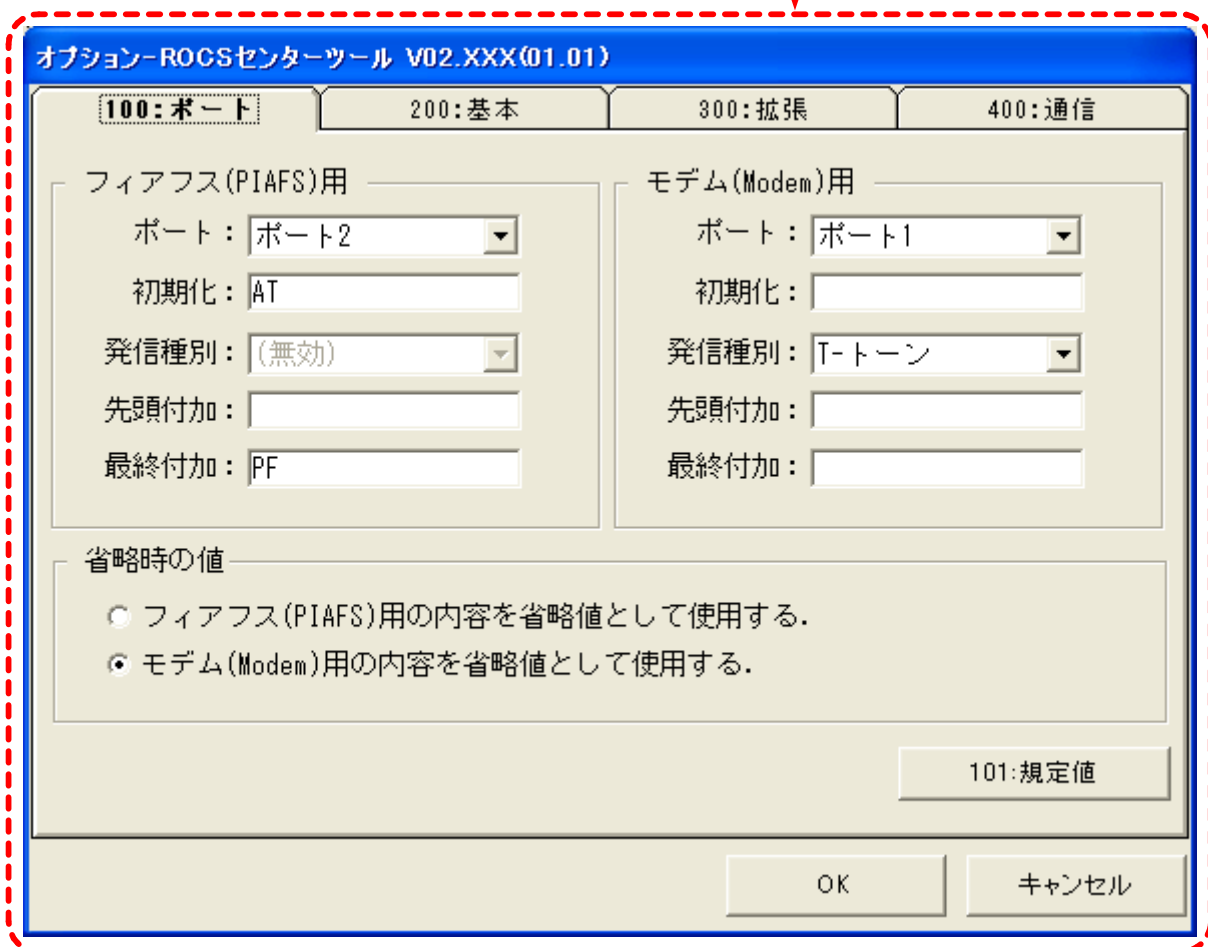
- ・端末一覧に表示されているものの内、必要な端末に対して同じ操作を繰り返します。
- ・状態が"無効"の機能にたいしては、「001:有効化」を行うことはできません。

5.4 オプション



① 「60: ツール」→「64: オプション...」を選択

【100: ポート タブ】



PIAFS用

電話番号の先頭に“P”が付加されている端末へアクセスする場合に使用する情報。

MODEM用

電話番号の先頭に“M”が付加されている端末へアクセスする場合に使用する情報。

省略時の値

電話番号の先頭に“P”もしくは“M”が付加されていない端末へアクセスする場合に使用する情報。

【400:通信 タブ】 基本的には内容を変更する必要はありません。

オプション-ROCSセンターツール V02.XXX(01.01)

100:ポート 200:基本 300:拡張 **400:通信**

通信速度
2400

エコーバック(E)
☒ Off ☐ On

通信データ
データビット長: 8
ストップビット長: 1
パリティ種別: None

フロー制御(E)
☒ non
☐ Xon/Xoff
☐ RTS
☐ Xon/RTS

401:規定値

OK キャンセル